

医療事故だけではないリスク

= 地震保険の話 (II) =

先月6日に発生した北海道胆振東部地震では、地震による人的物的被害に加えて、全道がブラックアウトに陥る事態となりました。このコラムで地震をテーマにするのは、平成28年6月1日号に続いて2度目になります。その2ヵ月ほど前の4月14日に熊本地震（震度7）が発生しました。熊本県は地元では地震が起きない地域と考えられていましたが、その当時、熊本県の地震保険の付帯率は全国平均程度でした。

一方、北海道では過去に十勝沖地震や、奥尻島が津波と火災に襲われた北海道南西沖地震、北海道東方沖地震などが発生していましたが、北海道の地震保険の付帯率が熊本県よりも低いことを紹介し、「このところの経験則では、日本ではどこでいつ地震が発生しても不思議ではないと言えます。地震保険料は決して安い金額ではありませんし、被害額全額を補償できるとは言えませんが、再建のための礎にはなりません。」と記載しました。

熊本地震が発生した平成28年の前後2年間の①地震保険の付帯率（住宅の火災保険に地震保険が付帯されている割合）と②地震保険の世帯加入率（地震保険の契約件数を世帯数で除した数値）について北海道と熊本県のデータの推移は表のとおりです。

熊本県では、地震の前後で地震保険の付帯率、世帯加入率ともに大幅に増加しています。データには各種共済を含んでいないため、実際の地震への備えはやや高いと考えられます。

地震保険では、火災保険の保険金額の50%を限度とし、最大で建物の保険金額を5000万円、家財を1000万円まで付保することができます。損害が発生した場合に支払う保険金は、全損の場合で保険金額の100%、大半損の場合60%、小半損の場合30%、一部損の場合5%となります。

記載したとおり、地震保険だけで損害を十分にカバーすることはできないですが、損失を最小限におさえることは可能です。

①地震保険 付帯率 (%)

	平成27年度	平成29年度	増加ポイント
北海道	51.0	53.3	2.3
熊本	63.8	77.5	13.7
全国平均	60.2	63.0	2.8

②地震保険 世帯加入率 (%)

	平成27年度	平成29年度	増加ポイント
北海道	22.8	24.0	1.2
熊本	29.8	38.5	8.7
全国平均	29.5	31.2	1.7

【出典】

損害保険料率算出機構「地震保険 都道府県別付帯率の推移」および「地震保険 都道府県別世帯加入率の推移」のデータを参照しました。

会員の皆さまから当コラムのご感想・ご意見をお待ちしています。
また、保険にまつわる落とし穴やお金に関する話題など、聞いてみたいことがありますたらお気軽にご連絡ください。

株式会社メディコ北海道 ☎011-232-8878（北海道医師会指定保険代理店）

<http://www.medico-hokkaido.co.jp/>